

# 小平市議会定例会一般質問通告書

再質問の方式 一問一答方式

質問件名 災害時の情報発信と風水害などに対する市の取り組みについて

## 【質問要旨】

近年、異常気象により数十年に一度と言われる台風や集中豪雨などの自然災害が頻繁に発生しています。10月12日、台風19号が関東に接近し、気象庁でも早い段階から地域に合わせた避難を呼びかけていました。小平市でも市制施行後初めて自主避難所の開設を決め、12日の朝10時から西部市民センター、中央公民館、東部市民センターの3箇所に自主避難所を開設し、そこには多くの市民が避難のために集まってきました。

台風19号が関東地方に迫ってくるに従い、自治体のホームページに情報を求めてアクセスが集中し、つながりにくい状態になったり、サーバーがダウンする自治体が多くありました。小平市ではホームページをリニューアルしたことにより、アクセスが集中してもサーバーがダウンすることなく情報を発信できたとのことは先日の一般会計決算特別委員会でも答弁があった通りです。

その一方でパソコンやスマートフォンなどを使用しない人、自主避難所が開設されたことを知らなかった人、台風が接近する中近くの公民館に避難したけれども閉館のため中に入れず引き返した学生がいたとのことです。災害時の広報の仕方、情報の取り方がまだ不十分な部分があるともいえます。

また、川や海、山のない小平市では大地震を想定した防災対策を行ってきました。しかし、これからは風水害も視野に入れた防災対策を今まで以上に考えていく必要があります。

今回の自主避難所を開設して見えてきた課題、風水害に対する取り組み、そして災害時の情報発信について以下質問をします。

1. 自主避難所の開設はどのような基準、どのような経緯で決まったのですか。
2. 10月12日に公民館は閉館していましたが、市内の公共施設の開館状況は。
3. 台風19号での家屋の損壊、倒木、浸水被害はありましたか。
4. 自主避難所が開設されたことなど、防災に関する情報はどのように発信しましたか。
5. デジタル媒体で情報が入手できない人への情報提供の方法は。

上記のとおり、小平市議会会議規則第57条第2項により通告します。

2019年 11月 18日 小平市議会議長 殿 小平市議会議員 氏名 山崎 とも子

受付番号【           】

27	26	25	24

-(        /        )